

15. 景観について

(1) 景観に対する関心度

◇【ある（計）】は7割台半ば

問 39 あなたは、宇都宮市の街並みなど景観に関心がありますか。(○は1つ)		n = 682
1	非常にある	14.1%
2	ある	62.2
3	ない	15.7
4	非常にない	0.9
5	わからない	6.0
	(無回答)	1.2

宇都宮市の街並みなど景観に関心があるか聞いたところ、「非常にある」(14.1%)は1割台半ば、「ある」(62.2%)は6割を超えており、これらを合わせた【ある（計）】(76.3%)は7割台半ばとなっている。

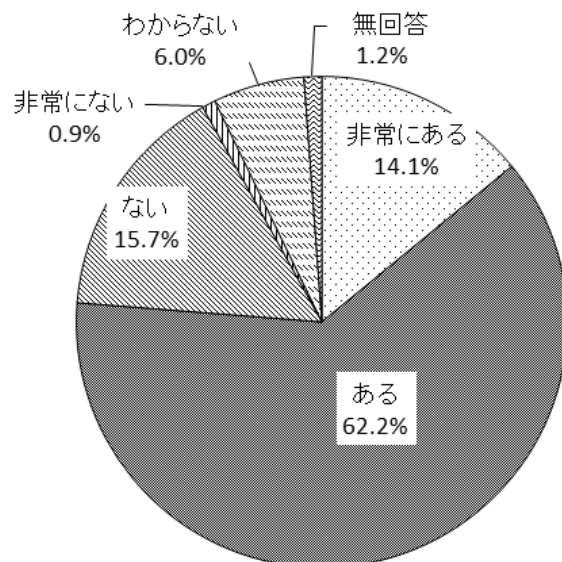
一方、「ない」(15.7%)と「非常にない」(0.9%)を合わせた【ない（計）】(16.6%)は1割半ばとなっている。(図IV-15-1)

性・年齢別で見ると、【ある（計）】は<男性/50歳代>(82.7%)、<男性/70歳以上>(80.4%)で8割を超えている。

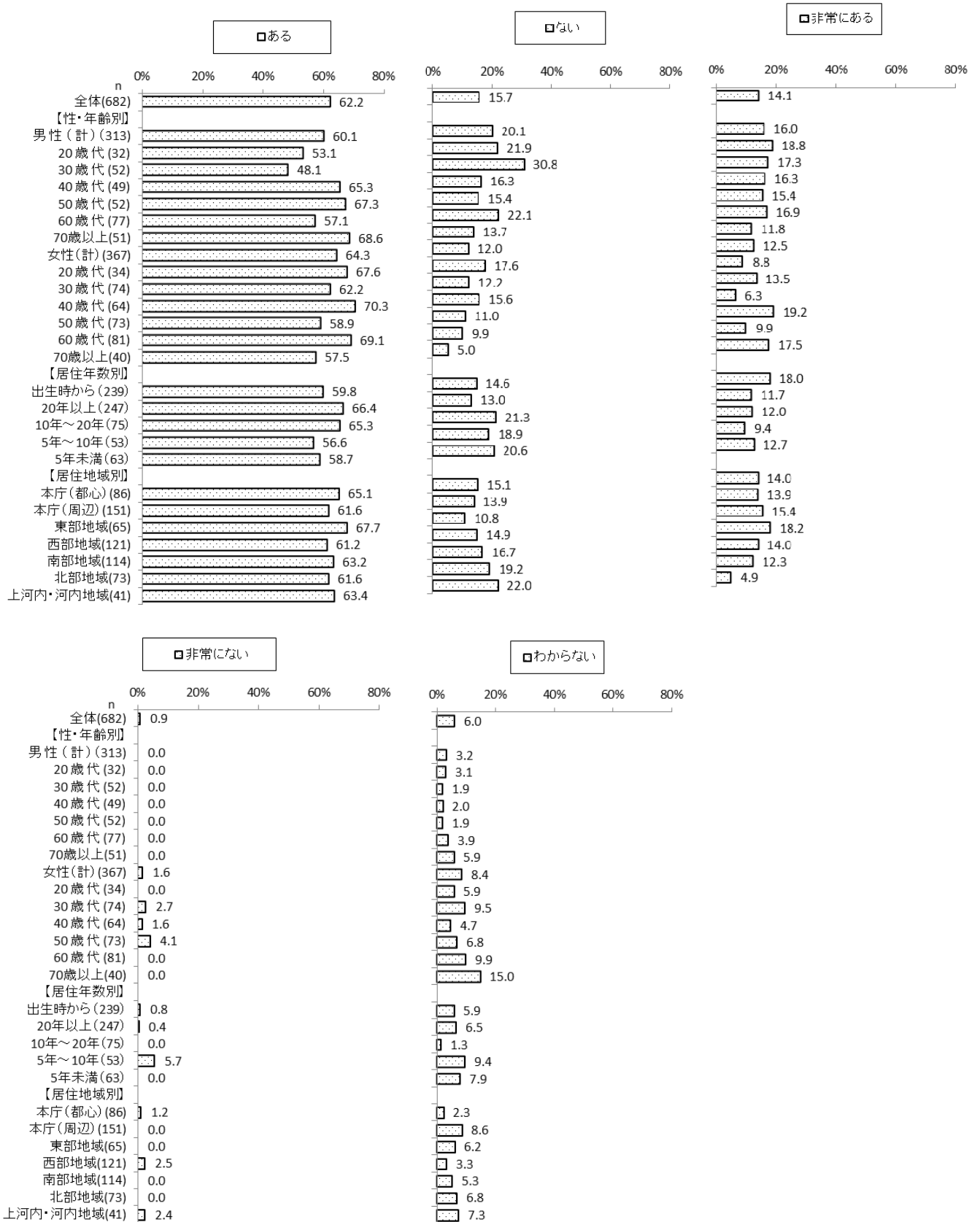
居住年数別で見ると、【ある（計）】は<20年以上>(78.1%)、<出生時から>(77.8%)、<10年～20年>(77.3%)で7割台半ばを超えている。

居住地域別で見ると、【ある（計）】は<東部地域>(83.1%)、<西部地域>(79.4%)、<本庁（都心）>(79.1%)でほぼ8割となっている。(図IV-15-2)

<図IV-15-1>全体



<図Ⅳ-15-2> 性・年齢別/居住年数別/居住地域別



(2) 景観づくりを進めていくべき地域

◇「中心部の商店街など人々がよく集まる地域」が6割, 次いで, 「市の玄関口である駅周辺地域」

問 40 あなたは、宇都宮市で特にどのような地域において、良好な景観づくりを進めていくべきだと思いますか。(○は2つ)

	n = 682
1 山並みや田園の広がる地域	18.5%
2 中心部の商店街など人々がよく集まる地域	60.0
3 郊外の大型商業施設が集まる地域	9.7
4 工業団地や郊外住宅地域	4.7
5 市の玄関口である駅周辺地域	54.4
6 歴史的な建物や大谷石の建物等が残る地域	23.3
7 その他	2.9
8 特になし	5.6
(無回答)	1.9

宇都宮市で特にどのような地域において、良好な景観づくりを進めていくべきだと思うか聞いたところ、「中心部の商店街など人々がよく集まる地域」(60.0%)が6割で最も高くなっている。

次いで、「市の玄関口である駅周辺地域」(54.4%)が5割台半ばとなっている。(図IV-15-3)

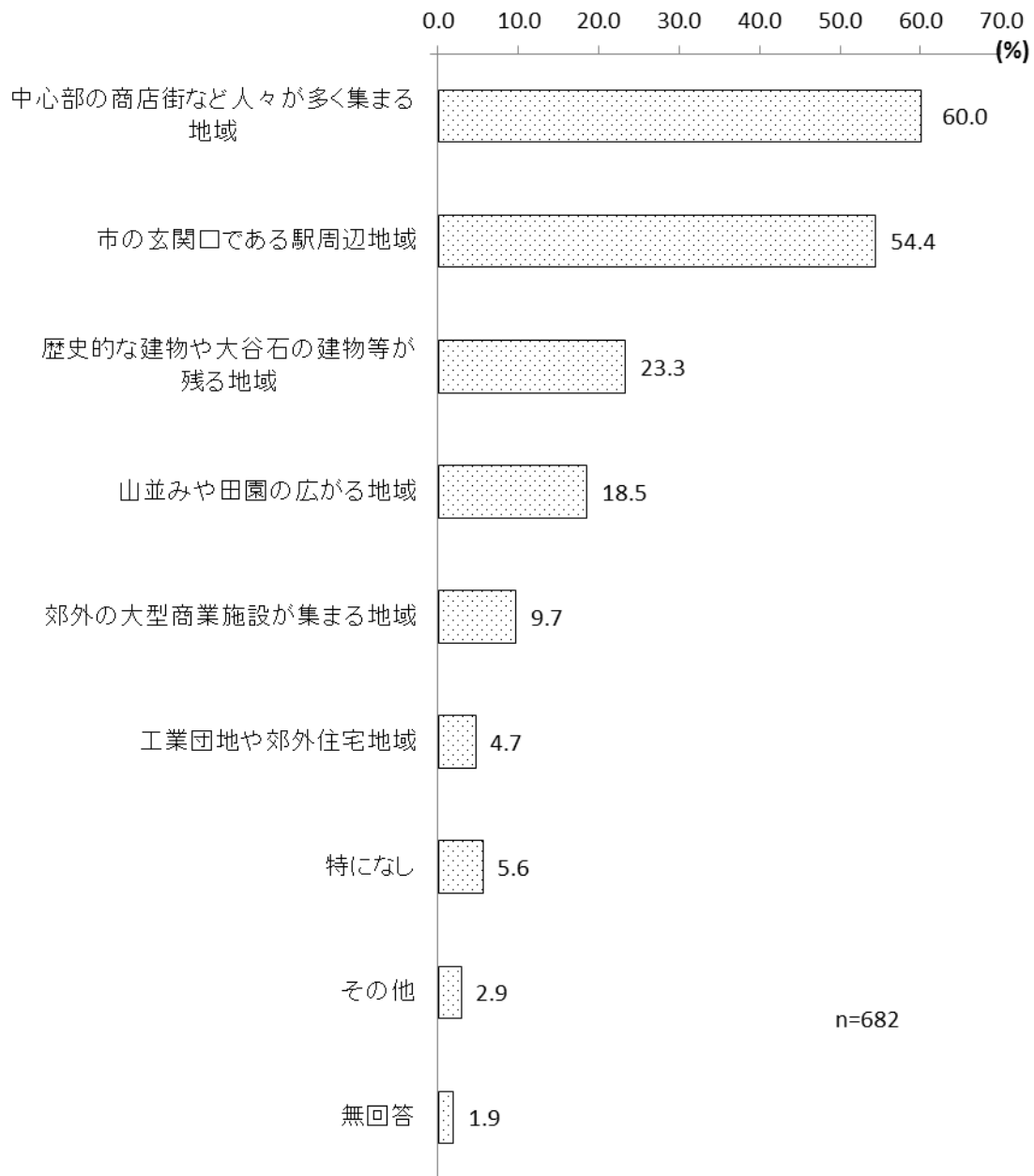
性・年齢別で見ると、「中心部の商店街など人々がよく集まる地域」は<女性/30歳代>(71.6%)で7割を超えている。

「市の玄関口である駅周辺地域」は<女性/50歳代>(75.3%)で7割台半ばとなり,<女性/40歳代>(62.5%),<女性/60歳代>(61.7%)で6割を超えている。

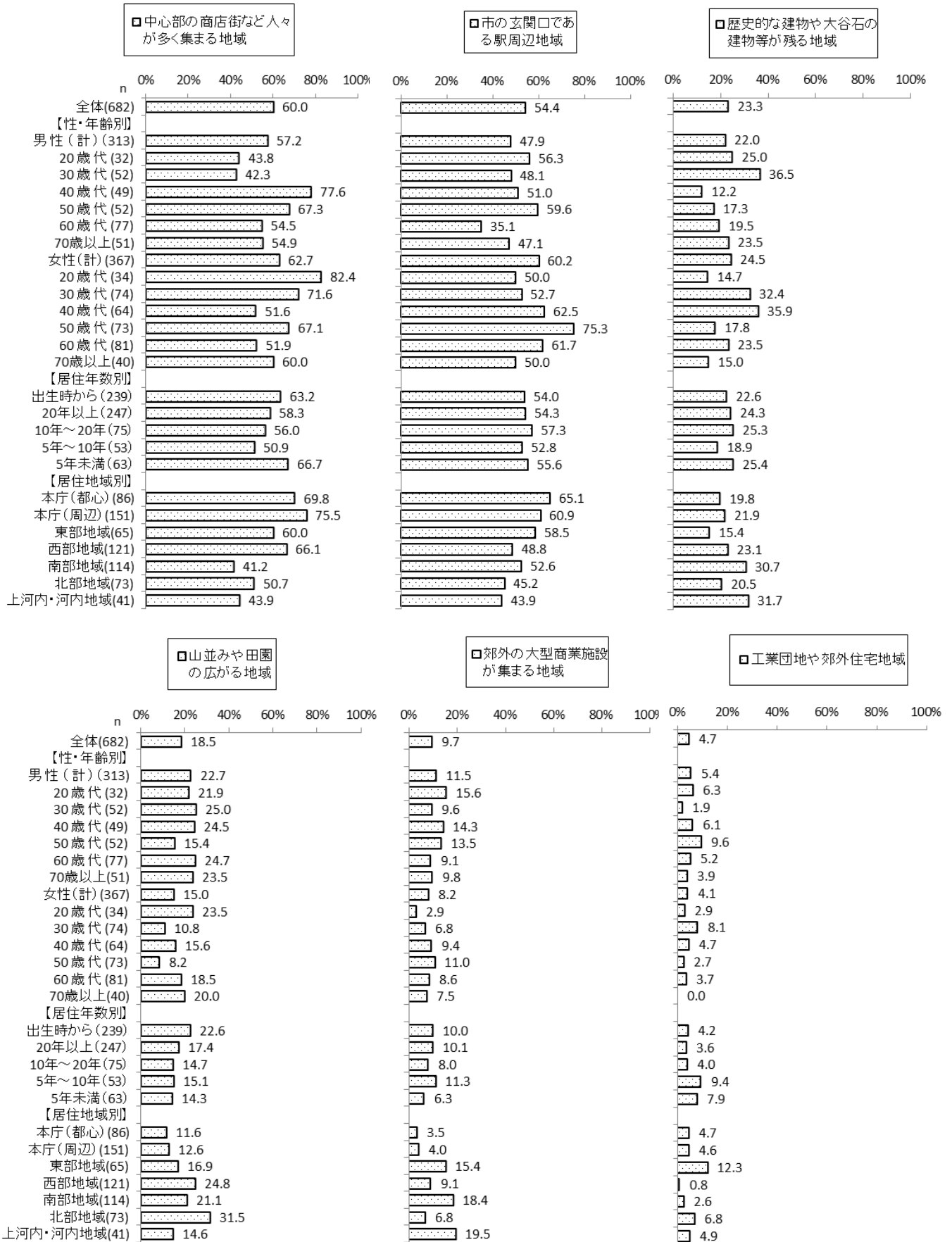
居住年数別で見ると、「中心部の商店街など人々がよく集まる地域」は<5年未満>(66.7%),<出生時から>(63.2%)で6割を超え,「市の玄関口である駅周辺地域」は全ての居住年数で5割台となっている。

居住地域別で見ると、「中心部の商店街など人々がよく集まる地域」は<本庁(周辺)>(75.5%),<本庁(都心)>(69.8%)でほぼ7割となり,「市の玄関口である駅周辺地域」は<本庁(都心)>(65.1%),<本庁(周辺)>(60.9%)で6割を超えている。(図IV-15-4)

<図IV-15-3>全体



<図Ⅳ-15-4> 性・年齢別/居住年数別/居住区域別



(3) 景観づくりを進めていく上での取組みや規制

◇「乱雑な広告物を減らすこと」と「道路上の電線を地下に埋めること」が4割

問 41	あなたは、市が良好な景観づくりを進めていく上で、どのような取組みや規制が必要だと思いますか。(〇は3つ)	n = 682
1	道路上の電線を地下に埋めること	40.0
2	乱雑な広告物を減らすこと	40.8
3	道路の舗装や街路灯等を高質化すること	32.7
4	生垣や街路樹など緑を増やすこと	29.9
5	建物の規模・高さ・デザイン・色彩等をまわりと調和させること	27.9
6	広告物の大きさや色彩をまわりと調和させる又は統一すること	15.8
7	宇都宮の地場産材である大谷石を活用すること	11.3
8	歴史的な建物を保全すること	20.8
9	田園や河川など自然を保全すること	33.3
10	古い大谷石の蔵などを保全すること	6.3
11	その他	5.4
12	わからない (無回答)	2.6 1.2

市が良好な景観づくりを進めていく上で、どのような取組みや規制が必要だと思うか聞いたところ、「乱雑な広告物を減らすこと」(40.8%)と「道路上の電線を地下に埋めること」(40.0%)が4割で高くなっている。

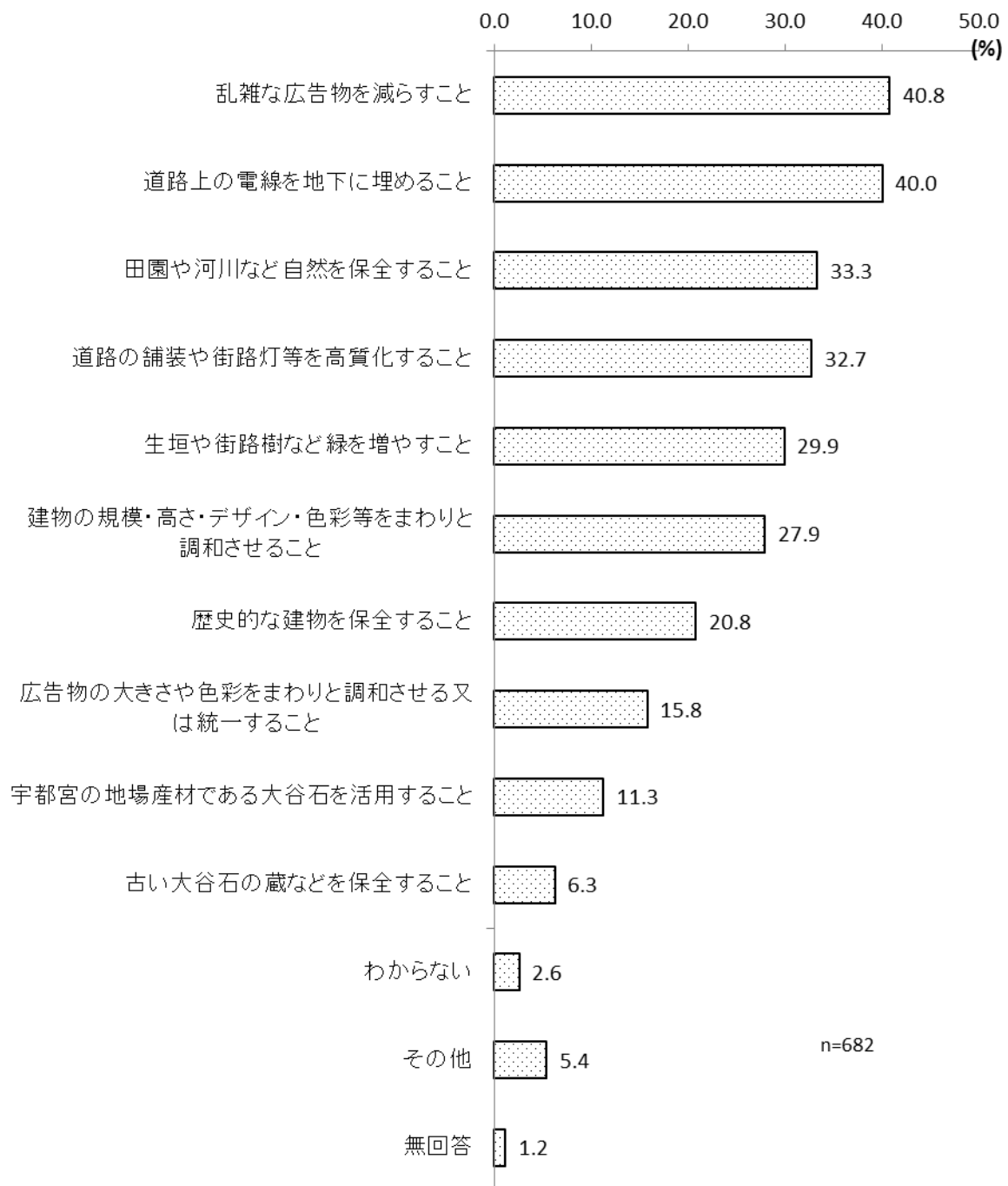
次いで、「田園や河川など自然を保全すること」(33.3%)と「道路の舗装や街路灯等を高質化すること」(32.7%)が3割台となっている。(図IV-15-5)

性・年齢別で見ると、「乱雑な広告物を減らすこと」は<女性/50歳代>(50.7%)、<男性/50歳代>(50.0%)で5割となっており、「道路上の電線を地下に埋めること」は<女性/60歳代>(51.9%)、<男性/70歳以上>(51.0%)、<男性/60歳代>(50.6%)で5割を超えている。

居住年数別で見ると、「乱雑な広告物を減らすこと」は<20年以上>(44.5%)でほぼ4割台半ばとなり、「道路上の電線を地下に埋めること」は<出生時から>(44.4%)、<10年~20年>(41.3%)、<20年以上>(40.5%)で4割台となっている。

居住地域別で見ると、「道路上の電線を地下に埋めること」は<本庁(周辺)>(47.0%)で4割台半ばとなっている。(図IV-15-6)

<図IV-15-5>全体



<図Ⅳ-15-6> 性・年齢別/居住年数別/居住地域別

